

【一】 次の問一から問四に答えなさい。

問一 次の五つの単語を国語辞典で配列される順に並べ替えて記号で書きなさい。

- ア トラウマ
- イ 丑三つ時
- ウ 卯月
- エ 酉の市
- オ 猪突猛進

問二 次の(1)～(6)の慣用的な表現・ことわざの意味を、後から選んで記号で書きなさい。

- (1) 身から出た錆
- (2) 背水の陣
- (3) 肝胆相照らす
- (4) 舌を巻く
- (5) 目を細める
- (6) 水に流す

【意味】

- ア 互いに心の底まで打ち明けて親しくつきあうこと
- イ ほほえみを浮かべること
- ウ 自分のしたことが原因となつて自分が苦しむこと
- エ あまりにもすぐれていて、非常に感心すること
- オ 一歩も退けない状況で決死の覚悟で全力を尽くすこと
- カ 過去のいざこざを、なかったことにすること
- キ 光に照らされた錆を水で洗うこと

問三 二重傍線部1～5の動詞の活用形を語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

今日は友達と会う。ご飯を一緒に食べて、その後にデパートへ行ったら、友達が「絶対に観ろ。」と言っていた、映画が上映中だったので、一緒に観ることにした。

【語群】 ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問四 次の(1)～(10)の傍線部の片仮名を漢字に直しなさい。

- (1) 神をトウトぶ。
- (2) ジシヤクの両極。
- (3) カイコを育てる。
- (4) 決勝戦にノゾむ。
- (5) 要人をケイゴする。
- (6) スイトウ帳をつける。
- (7) 仏像をオガむ人たち。
- (8) 返事にコマる。
- (9) 新鮮な空気をスう。
- (10) イルような視線。

【二】 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

著作権の都合上、省略。

問一 波線部Ⅰ～Ⅶまでのカタカナを漢字で答えなさい。

問二 空欄Ⅰ～Ⅵにあてはまる言葉を、次の1～6からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 つまり
- 2 一方
- 3 でもだからといって
- 4 もちろん
- 5 でももし
- 6 たとえていえば

問三 傍線部Aとあるが、その理由は何か。文章中から二十五字でぬき出しなさい。

問四 「記憶に残りやすい」という新聞のメリットについて説明した次の文について、【 】に当てはまる言葉を、字数に沿ってぬき出しなさい。

筆者は【Ⅰ 二字】を【Ⅱ 三字】にたとえて、そこにのっている【Ⅲ 二字】を【Ⅳ 一字】にたとえている。

問五 「一覽性」という新聞のメリットについて説明した次の文の【 】に当てはまる言葉を、文章中から二十字でぬき出しなさい。ただし、句読点は含まないこと。

【二十字】メリットがある。

問六 傍線線Bがあると、どのように紙面を読むことができるか。それを説明している一文を文章中から五十五字以内で探し、初めと終わりの五文字を答えなさい。ただし、句読点を含むこと。

問七 文章の内容として適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者は、記事を無料で好きなだけ検索できるので、ネットだけで事足りるとしている。
- イ 筆者は、過去の記事を素早く調べられるという点で新聞を良いとしている。
- ウ 筆者は、新聞を記憶に残りやすい点で良いとしている。
- エ 筆者は、ネットの記事を感覚的に文字が頭に引つかかる点で良いとしている。

【二】 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。なお、本文は一部編集してある。

著作権の都合上、省略。

問一 波線部1～5の漢字の読みを、平仮名で答えなさい。

問二 傍線部Aとは、どういう雰囲気か。次のア～エから適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いつもの寂しい茶の間とどこか似た雰囲気。
- イ 自分の知識を自慢し合う大人げない雰囲気。
- ウ 野性味あふれる男の魅力に満ちた雰囲気。
- エ 軽快で知的な会話が弾む和やかな雰囲気。

問三 傍線部Bの意味として適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 筋道の通らないことを、巧みに言いくるめること。
- イ 無駄なことばかり口にし、おしゃべりであること。
- ウ すらすらと言葉が出てこず、ぎこちなく話すこと。
- エ 相手が口を挟む余地がないほど、よどみなく話すこと。

問四 傍線部Cとあるが、このような「眼つき」になったのはなぜか。次のア～エから適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 文学に熱中していた若い頃を思い出したから。
- イ 俊吉の長い議論に嫌気がさしてしまったから。
- ウ 微酔しながら論ずる姿にかつとまってしまったから。
- エ 照子のために身を引いたことに、今更ながら後悔したから。

問五 傍線部Dについて、照子がこのような状態になったのは、なぜだと考えられるか。次のア～エから適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話の合わない俊吉との結婚生活に、今更ながら不満を覚えたから。
- イ 昔のように親しくしていない姉が泊まることを、不審に思ったから。
- ウ 姉から無理やり俊吉を奪ったことに、深い罪の意識を抱いたから。
- エ かつて好き合っていた姉と俊吉が二人きりになり、不安や嫉妬を感じたから。

問六 本文中の信子の心情をまとめた次の文の空欄1・2に入る言葉を、本文中からそれぞれ抜き出しなさい。

【1】のために俊吉のことをあきらめて他の男と結婚した自分を【2】と重ね合わせて後悔している。

四

次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

春は ^Aあけほの。 ^Bやうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる【1】。
 夏は夜。月のころは ^Cさらなり、^D闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる【1】。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るも ^Eをかし。

問一 この作品の名前と筆者の名前を漢字で答えなさい。

問二 波線部A～Eの現代語訳をしなさい。

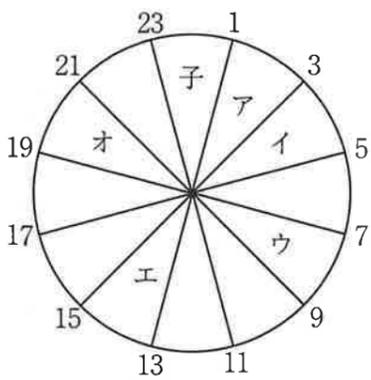
問三 【1】に共通して入る語は何か。文中より三字で抜き出しなさい。

問四 この作品のジャンルは何か。次の語群から適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- 【語群】 ア 説話 イ 物語 ウ 随筆 エ 日記

問五 この作品は何時代に描かれていたものか。次の語群から適当なものを、一つ選びなさい。

- 【語群】 ア 奈良時代 イ 平安時代 ウ 鎌倉時代 エ 江戸時代



問六 左の表は干支と時刻の対応表になっている。ア～オに当てはまる漢字を、それぞれ一字で書きなさい。

- 問七 次の1～5の干支の方角は八方位でいうとどの方角を指すか、それぞれ漢字で答えなさい。
- 1 午 2 卯 3 酉 4 辰 5 戌

【五】 次の二人の台詞を読み、あとの問いに答えなさい。

【状況1】

田中さんと佐藤さんは図書室で会議をしています。

【台詞1】

田中…ねえ、夏休み前だし、新しい本を取り入れるのに、何かいい提案ってある？

佐藤…そうだね。新刊でベストセラー小説を追加したら、生徒たちに喜ばれそうだよ。何か候補はある？

田中…私も考えてみたけど、最近話題の作品って何かあるかしら？

佐藤…えっと、『星の彼方で待ってる』って小説が最近人気だよ。あれを追加してみるのどうかな？

田中…それはいいアイデアかもしれないね。その本以外にも数冊追加しよう。それと、夏休み中の貸出制限も変える予定だよ。一人二冊借りられるようにするっていい提案があるんだ。

佐藤…それなら、生徒たちも新刊と古典を同時に楽しめるし、読書好きの人にとってはうれしいかもしれないね。

田中…あと、この図書室での飲食の問題も気になるんだけど、最近、紙パックの飲み物を持ち込んでいる人が多いよね。

佐藤…うん、それって他の生徒に迷惑かけちゃうかもしれないし、図書室のルールに反しているよね。

田中…そう。だから、どうにかしてそれを防ぐ方法を考えないと。制限を設けるか、代替の場所を提供するか、何かいいアイデアはないかな？

佐藤…そうだねえ、他の生徒が集中して読書できるように、なるべく静かな環境を保つのは大切だし、何か解決策を考えてみよう。

田中…全校放送で図書委員として放送による呼びかけをしてみるの？

佐藤…いいね。話の構成として、新刊追加の告知をして、次に貸出制限のお知らせをした後、最後に注意を促す話をしよう。

【状況2】

二人は図書室のルールを更に話し合い、田中さんは話しあったことについて、全校に放送で呼びかけることにしました。

【台詞2】

みなさん、こんにちは。私たち【A】から、【B】、新しい提案とルールについてお知らせしたいと思います。これにより、皆さんが図書室で、より楽しむことができることを期待しています。

まず、新しい提案についてお話しします。夏休み前に新刊で【C】を追加することを検討しています。最近話題の作品や、皆さんに喜ばれるであろう本を選ぶ予定です。新しい本が追加されると、読書がますます楽しくなると思います。

また、【D】
さらに、【E】

新しい提案やルールについての皆さんの意見や提案を歓迎します。図書室は私たち全員が利用する場所であり、より良い環境を作り上げるために協力が必要です。提案やアイデアがある方は、図書委員会までお知らせください。

以上が図書室の新しい提案とルールについてのお知らせです。みなさんのご協力と意見をお待ちしております。読書を楽しむために、協力をお願いします。ありがとうございます。

問一 空欄AからCに入る言葉を後の語群からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

【A】 1 生徒会 2 図書委員 3 読書好き

【B】 1 夏休み期間へ入る前に 2 夏休み途中の 3 夏休み明けからの

【C】 1 『星の彼方で待ってる』 2 『星の彼方で待ってる』のほか二冊 3 ベストセラー小説数冊

問二 空欄D、Eに入る言葉を次の1〜5からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 夏休みの貸出制限についても変更します。これからの夏休みの間は、一人二冊まで本を借りることができるようになります。これにより、新刊と古典、好きなジャンルの本を同時に楽しむことができます。読書愛好者にとってはうれしい変更となるでしょう。

2 『星の彼方で待ってる』は、圧倒的なキャラクターの魅力、緻密な世界観、心温まるストーリーが詰まった作品です。主人公たちの冒険と友情、未知の宇宙を旅する感動が、読者を引き込み、ぐいぐいと物語に引き込むこと間違いありません。

3 図書室のルールについても少し話し合いました。特に、紙パックの飲み物を持ち込んでいる人がいることに関して検討しました。これは本を汚したり、他の生徒に迷惑をかける可能性があり、図書室の清潔で静かな環境を乱すことがあります。そこで、どのように解決できるかを考える必要があります。これから先は、フタ付きの飲み物のみを図書室へ持ち込むことを許可します。紙パックの飲み物は持ち込まないでください。

4 私たちは図書委員会です。委員会のみんな、情熱的な読書家です。新刊と古典を愛し、図書室の改善に努力しています。対話を通じて、読書環境をより魅力的にし、皆さんに素晴らしい読書体験を提供しようとしています。

5 私たちのおすすめの紙パックの飲み物は、自然なフルーツの風味が楽しめる果汁入りのアイステイラーです。爽やかな味わいと健康的な成分が組み合わせり、リフレッシュできます。